

**令和８年度コンプライアンスに係る職員の意識調査等業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和８年９月１４日 １３時２０分から１５時５５分まで
2	出席委員	総務局行政経営部長 総務局総務課担当課長（法務担当） 総務局行政管理課主査（行政管理課長代理出席） 総務局人材マネジメント担当課長 監査委員事務局監査統括監
3	議 題	最優秀提案者の選定について
4	担当部署	総務局行政管理課
5	開催方法	オンライン（Zoom）
6	議事内容	１ 審査結果 選定委員会において、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、最も評価値が高いＡ社を最優秀提案者として決定した。 ２ 提案者 Ａ社 合同会社デロイトトーマツ Ｂ社 株式会社東京商工リサーチ広島支社 Ｃ社 株式会社大広西日本 Ｄ社 三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社大阪 Ｅ社 ＥＹ新日本有限責任監査法人 ３ 各提案者の評価値 「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり ４ 提案者ごとの主な評価・選定理由 【Ａ社】 ・改善策の提案に向け、情報収集や追加調査の提案がなされており、本県の状況を把握された上で、実行性の高い改善策の提案に期待したい。 ・提案の趣旨をよく理解しており、提案内容に具体性・説得力がある。 ・類似の業務実績が豊富であり、確実な業務実施と具体的な改善施策の提案が期待できる。 ・他自治体の事例調査が提案されており、具体策に期待できる。 ・業務を期限内に遂行可能なスケジュール設定や実施体制、回答率向上に向けた取組、実態を反映させた設問等に工夫が見られる。

		・将来に向けた改善策については具体性に少し欠けていると思われる。 【B社】 ・調査・分析に重点をおかれているように思う。本県の実情に合わせた具体的な改善策の提案イメージがしづらい。 ・提案内容は、概ね妥当なものであるが、もう少し具体的な改善提案の内容があれば、なおよかった。 ・改善施策の提案が少し薄い、全体的には標準かと思われる。プレッシャーの緩和につながる提案ができていれば、より高得点であった。 ・分かり易い設問になることは期待できるが、改善施策に具体的なイメージが持てるように施策の例示がほしかった。 ・業務を期限内に遂行可能なスケジュール設定や実施体制、回答率向上に向けた取組、提案者としての仮説に基づく設問設定に工夫が見られるが、改善施策の提案については具体性に少し欠けていると思われる。 【C社】 ・分析結果、改善施策ともに本県の実情に沿った具体的なアウトプットがイメージしにくい状況にある。 ・提案内容が、やや抽象的であり、具体的な改善提案を得られるのか不明である。 ・業務の管理や実施の担当者が再委託先となっており、実施体制やスケジュールに、やや不安を感じる。 ・改善施策の提案に至るまでのプロセスが分析的でわかりやすい。一方で施策の例示がやや抽象的であるため、どのような提案が出るのかイメージが持ちづらい。 ・回答率向上に向けた取組、設問設定、改善施策の提案については具体性に欠けていると思われる。 【D社】 ・設問設計の内容が具体的であり、意識調査による状況把握は期待できるのではないかと。 ・提案内容は妥当なものである。類似の業務実績が豊富であり、具体的な改善提案が期待できる。 ・改善施策の提案について、具体性が薄い、全体的には標準かと思われる。 ・無関心層に対する着目については良い。 ・プレッシャーの緩和策についての設問は良いが、改善策の提案まで欲しかった。
--	--	---

		・全体的に分析的で説得力があり、かつ、分かり易い内容となっており、実効性のある事業運営が期待できる。 ・業務を期限内に遂行可能なスケジュール設定や実施体制、回答率向上に向けた具体的な取組、昨年度の設問を整理した新たな設問設定に工夫が見られる。 【E社】 ・設問設計の内容が具体的。意識調査で把握された課題に対し、実効性の高い改善策の提案を期待したい。 ・提案内容は具体的で、アンケート実施から改善施策の提案までのプロセスが明確である。具体的な改善提案も期待できる。 ・設問について具体的に作りこんであり、期待が持てる。 ・エンゲージ面の設問がよいが、プレッシャー関連の設問があればもっと良かった。 ・総合的に、実力は十分かと思われる。 ・全体的に分析的で説得力があり、実効性のある事業運営が期待できる。 ・業務を期限内に遂行可能な実施体制、回答率向上に向けた取組、実態を反映させた設問等に工夫が見られる。 ・スケジュール設定について、仮説設計等初期の段階で進まなかった場合のリカバリー策が不安である。
--	--	---